

平成 30 年度夏季 カウンセリング・ワークショップ

<御案内>



——主催——

一般財団法人 日本カウンセリング・センター
〒161-0033 東京都新宿区下落合3-14-39
T E L . 0 3 - 3 9 5 1 - 3 6 3 7
F A X . 0 3 - 3 9 5 1 - 1 8 0 8
E - M a i l . c _ c e n t e r @ h b . t p 1 . j p
U R L . <http://nihon-counseling.org/>
振替口座 00170-8-20506
取引銀行 りそな銀行目白出張所 No.881374(普通)

開催日程

第一会場(宮城) 7月26日(木)～7月29日(日)

共催 八戸カウンセリング・センター 山形カウンセリング研究会
青森カウンセリング研究会 東北カウンセリング研究会

第二会場(東京) 8月3日(金)～8月5日(日)

第三会場(大分) 8月23日(木)～8月26日(日)

共催 大分県カウンセリング研究協会

ご挨拶

カウンセリングという営みや学びに関心を寄せ、この道を歩み続けておられる全国の皆様、いかがお過ごしでしょうか？ 日本カウンセリング・センター主催の平成 30 年度夏季カウンセリング・ワークショップの案内をお届けします。

公認心理師法が昨年 9 月に施行され、それにもなあって、全国の大学と大学院では今年度より公認心理師養成のためのカリキュラムがスタートすることになりました。カリキュラムならびに科目名は全国一律で、カウンセリングに関する科目は「心理学的支援法」という名称で開講されます。心理の国家資格が誕生したことや、そのカリキュラムの中にカウンセリングに関する科目が設置されたこと（名称の良し悪しは別にして…）などは、いちおうは喜ばしいことなのかもしれません。しかし、国が用意したこのような入れ物にどのような中身を注ぎ込むのかは、カウンセリングに携わる

私たち一人ひとりの熟慮や行いや発言にかかっているのだと思います。国家資格云々といったことを超えて、今まさに、「カウンセリングとは何か？」という根本的な問題が問われなければならない状況にある、と言えるでしょう。

日本カウンセリング・センターは来年（2019年）で法人設立60年を迎えます。この60年の間に数多くの方々が学び合い、切磋琢磨し、議論し、さまざまに表現してきた「カウンセリング」というものが、「カウンセリングとは何か？」という根本的な問いに対して、重要かつ貴重な示唆をもたらし得るはずだ、と考えるのは私だけではないでしょう。

この夏も、以下に掲載しました各会場において、一人でも多くの方々がより深く自分を見つめ、他者を理解し、そうする中で意義深い体験と学びが生まれ、「カウンセリングとは何か？」について洞察する機会になることを祈念しています。

平成30年6月吉日

一般財団法人 日本カウンセリング・センター
代表理事 末 武 康 弘



このワークショップの目的と特質

ここにご案内するワークショップは、世のいわゆる講習会とは、著しく目的・性格を異にしております。自分とは関係も縁もない誰かが決めた線に沿って、身体を運んでゆきさえすれば、世のいわゆる講師が壇上から抽象概念を降り注ぎ注入してくれる、といったタイプの会合ではありません。もちろん、参加者の要望・要請によって、講演とか講義とかいう言葉で呼ばれている場面が展開することもないわけではありませんが、しかしそのような場面をも含んで、会期中のほとんどすべてが、何よりも参加者各自の参加目的に沿って展開されることが、基本的に目ざされている会合なのであります。端的に申し上げれば、文字通りの「**身心学道**の場」なのであります。

このことは、決して決して奇異をてらっての妄言でもなければまた、人心をあおる宣伝文句でもなく、特に現代においてはきわめて切実かつ緊急な課題への、きわめて古いがしかしいよいよ新鮮さを甦らせている現実的な取り組み(アプローチ)を、率直かつ端的に表明しております。それだけに、不知不識のうちに既成の諸概念によって枠づけられ、しかも既成の社会的体制によって強化されてしまっている思考形式によっては、少々ならず理解し難い記述であろうかと想います。しかし、もしも読者が、

ニュートン物理学、今日のいわゆる「古典物理学」、を武器もしくは拠りどころとして増強の一途を辿ってきた産業主義的諸概念から己れを解き放ち、種々様々な困惑させられる今日の事態から直接に感得されている己れの心情に即して読んで下さるならば、おぼろげながらにでもこのワークショップの目的と特質とが浮かび上ってくる己れに気づくのではないのでしょうか？

わが国ではその名を広く知られている現代の碩学・糸川英夫氏（組織工学研究所々長）は、「リフキンの本を読んで、私がしばらくは立ち直れそうにもないショックを受け、憂鬱な気分になり込んでしまった理由」を、その著「第三の道——インドと日本とエントロピー」（株式会社 CBS・ソニー出版）で告白・概説しておられるのを読まれた方々もおられるでしょうが、そしてさらに、竹内 均氏が訳出されたそのリフキンの「エントロピーの法則」（祥伝社刊）やカプラの「ターニング・ポイント」・「タオ自然学」（工作舎）、あるいはブルックスの「センサリー・アウェアネス」（誠信書房）などをもお読みになられた方々もおられるでしょうが、もしもこれらをお読みになられたならば、ニュートン物理学が、いわゆる「教育」の分野においてもどれだけ猛威を振って今日の荒廃をもたらしているかは、すでに十二分にご了承・ご洞察ズミのことでしょう。私どもに残され課せられている道はただひとつ、「機械論的世界観」によって破滅の淵に追い詰められている私ども人間が、——糸川氏の言葉を借りれば「終末の様相をみせてきた“先進諸国”（もしかすると、先に地獄へ進むという意味かも知れない）」というその「地獄への進路」を、できるだけ早く、かつ、効果的に閉塞すべく勇気を振り起こすことであり、さらには新しい創造的・開拓的な活動へと、人それぞれの分に応じて参加し参与してゆくことなのであります。

端的に申し上げれば、「誰かがなんとかしてくれるであろう」時代が急ピッチで終末段階に向かいつつある現代において、言わば「生命感覚」を頼りに己れの分をシッカリと見定め、己れの足で立ちかつ歩くことが、何よりも肝要な緊急事となっているのであります。そして、ここにご案内するワークショップは、「そのための**体験学習の場**」以外の何ものでもないのであります。

友田不二男



平成 30 年度・夏季カウンセリング・ワークショップ開催要項

第一会場(宮城)

共催 山形カウンセリング研究会
青森カウンセリング研究会
八戸カウンセリング・センター
東北カウンセリング研究会

会 場 仙庄館（鳴子温泉郷中山平温泉、山と森と溪流の宿）
〒989-6832 宮城県大崎市鳴子温泉字星沼 28-2
電話 0229-87-1234、fax 0229-87-2222
<http://www.sensyokan.co.jp/>

【交通のご案内】

- 電車——東北新幹線古川（ふるかわ）駅で下車。陸羽東線に乗り換えて1時間、中山平駅で下車。徒歩15分。
- 自動車——東北自動車道古川 IC を下りて、鳴子方面へ向かい、鳴子トンネル、鳴子峡 を越して300m先仙庄館看板左折、陸羽東線の下をくぐり抜けた先に当館。（所要時間約50分）
- 送迎バス—7月26日（木）の午前11時丁度に、JR 仙台駅東口バスプール観光バス乗降場よりマイクロバス一台が出発、仙庄館まで。帰りは7月29日（日）午前11時25分出発、JR 仙台駅まで。所要時間は約1時間30分。送迎バス利用をお勧めいたします。（無料）

会 期 7月26日(木)午後2時～7月29日(日)午前11時(3泊4日)

会 費 32,000円（研修費・宿泊費・茶菓子代）

定 員 30名

世 話 人 末 武 康 弘(当法人代表理事、法政大学教授)
平河内健治(東北カウンセリング研究会会長、前日本カウンセリング・センター代表理事、東北学院大学名誉教授)

事 務 局 東北カウンセリング研究会事務局長 宍戸博行
〒980-0011 仙台市青葉区上杉 3-4-3 研修センター仙台掌風荘内
電話 022-222-2884 fax 022-707-0932

申込期日 7月19日(木)まで

申 込 先 1) 一般財団法人 日本カウンセリング・センター事務局
2) 上記東北カウンセリング研究会事務局



第二会場(東京)

この会場は、現実的なご事情で合宿研修に参加できない方々のための「通いのワークショップ」です。宿泊および昼食のお世話は致しかねますので、あらかじめご承知おきください。

会 場 一般財団法人 日本カウンセリング・センター2階研修室
(JR 山手線目白駅下車、徒歩約 10 分)
会 期 8月3日(金)～8月5日(日) 時間は3日間とも 10:00～17:00
会 費 18,000 円(研修費・茶菓子代)
定 員 20 名
世 話 人 水野明(当法人業務執行理事) その他の世話人は交渉中
申込期日 7月27日(金)まで
申 込 先 一般財団法人 日本カウンセリング・センター事務局



第三会場(大分)

共催 大分県カウンセリング研究協会
後援 大 分 言 友 会
N P O 法人心の支援センター

会 場 宇曾山荘(大分県大分市大字入蔵 635-1 電話 097-588-0801
URL: <http://www.uzousansou.com/>)
宇曾山荘は、宇曾嶽神社本宮を有する宇曾山の懷に抱かれ、爽やかな風と緑豊かな大自然に囲まれ、心と体のリフレッシュに最適な施設です。
【交通のご案内】
● 大分駅から 12 キロ、車で約 30 分(8月 23 日は午後 1 時に送迎バスが大分駅南口でお待ちしますのでご利用下さい)。
● 公共機関は、大分バス駅前のりばより野津原方面行きの野津原で下車、バス停からお電話頂ければお迎えに行きます。

会 期 8月23日(木)14:00～8月26日(日)11:00 まで(3泊4日)
会 費 35,000 円(研修費・宿泊費・資料代を含む)
定 員 20～25 名
世 話 人 佐世省吾(当法人参与・大分県カウンセリング研究協会)
生山留美(NPO 法人心の支援センター理事長)
竹内良雄(浪速少年院)

事 務 局 後藤アイ(大分県カウンセリング研究協会)
申込期日 8月16日(木)まで
申 込 先 一般財団法人 日本カウンセリング・センター事務局
地 元 〒879-7875 大分市吉野原 132 後藤アイ
問合せ先 電話・FAX 097-595-0351

<申込方法と備考>

- (1) 巻末の参加申込書に必要事項を記入し、事務局宛に郵送・FAXでお送りください。
もしくは、事務局のメールアドレスに必要事項を入力し「夏季ワーク〇〇会場参加申し込み」などの件名で送信ください。申込金¥5,000は、銀行振込・口座振替・現金書留・当日持参のいずれかでお支払いください。
- (2) お申し込みいただきますと、当方より折り返して「参加承諾証」をお届けいたしますので、この「参加承諾証」を会場にご持参ください。会場受付において申込金を会費に繰り入れます。
- (3) お申し込み後、なんらかのご事情で参加できなくなった場合には「参加承諾証」をどなたかにお譲りください。または、同年度内の別の会場に振り替えることは構いませんが、いずれの場合も申込会場の申込締め切り期日前にお知らせください。
- (4) 定員に達した場合は、申込期日前でも締め切ります。お含みおきください。
- (5) 申込期日前に締め切った場合は、返送料を差し引いて申込金をお返しいたします。
- (6) この会合は、東京会場以外、全員合宿を原則としておりますが、諸般の事情により「通い」を希望される方はあらかじめお問い合わせください。
- (7) 特別の事情がある場合には、世話人が変更されることがありますので、その場合にはご了承ください。
- (8) 会場により「宿泊費」の変動のため、「会費」の金額が変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- (9) 申込金を銀行振り込みされる場合は、一般財団法人 日本カウンセリング・センターの口座にお振り込みください。(振込先:りそな銀行目白出張所(普)No.881374)

平成 30 年度・夏季カウンセリング・ワークショップ参加申込書

このワークショップの目的に賛同し、次のワークショップに参加します。

宮城会場(宮城)	東京会場(東京)	大分会場(大分)
----------	----------	----------

※参加ご希望の会場の左の欄に○をご記入ください。

申込金の送金方法 りそな銀行目白出張所 振替口座(表紙参照)
現金書留 当日持参

平成 年 月 日

現住所	〒		
電話番号	E-mail		
ふりがな	生年月日		性別
氏名	Ⓜ	男・女	
所属機関			

※ E-mail(メールアドレス)・生年月日・性別・所属機関の記入は任意です。

一般財団法人 日本カウンセリング・センター 御中